

12月定例会の概要

第416回定例会市議会は、12月2日から18日までの17日間の会期で開催されました。
 今回の定例会では、令和元年度の一般会計補正予算案、条例の制定・改正、指定管理者の指定、人事案件など、全42議案のほか、9月定例会から継続審査となっていた平成30年度決算認定議案2件、そして請願1件、陳情5件、継続分の陳情2件、議員提出の市会案2件について審議しました。
 審議結果は、9/11のとおりでです。

一般会計補正予算を修正可決

提案のあった補正予算案の一部を減額する修正案を可決しました。

結果、2億7258万円の増額となり、予算の累計額が188億5430万円になりました。
 主な補正の内容は、下表のとおりです。

特別会計補正予算

- 国民健康保険事業特別会計
 - 保険給付費等交付金償還金などの増額。
- 介護保険事業特別会計
 - 介護予防サービス給付費負担金等の増額。
- その他の特別会計
 - 人事異動や給与改定などに伴う職員給与費の増減など。

補正のあった主な内容	補正額
★ ふるさと納税の寄付金額の増に伴い、地域振興基金積立を増額	700万円
★ 第四次大野市地域福祉計画の策定に向け、策定委員会の開催、市民アンケート等を実施する経費	30万円
★ 第五次大野市障害福祉計画等の策定に向け、策定委員会の開催、市民アンケート等を実施する経費	20万円
★ 今年度の実績に基づき、生活保護扶助費の不足見込額を増額	3663万円
★ 営農組織等2団体が行う園芸導入事業に対して補助する経費	449万円
★ 豚コレラ発生に伴い、養豚場の衛生管理対策として、豚舎の施設改修に対し支援する経費	300万円
★ 除雪委託料の増額	1億7000万円
★ 令和2年度の教諭用教科書、指導書、デジタル教科書、プログラミング教材を購入する経費	1758万円
★ 台風10号により被災した林道（羽見谷線）の復旧作業を行う経費	339万円

市議会を傍聴しましょう

本会議や委員会は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局（3階）で受け付けを済ませてから、傍聴してください。

次回、3月定例会の予定は次のとおりです。

日程(案)	区分	審議等の内容
3月2日	月 本会議	常任委員会・議会運営委員会委員の選任、議案上程、提案理由説明
9日	月 本会議	代表質問、(一般質問)
10日	火 本会議	一般質問
11日	水 本会議	一般質問、請願・陳情上程
12日	木 委員会	10:00 産経建設常任委員会
13日	金 委員会	10:00 産経建設・民生環境常任委員会
16日	月 委員会	10:00 民生環境・総務文教常任委員会
17日	火 委員会	10:00 総務文教常任委員会
18日	水 委員会	10:00 人口減少対策特別委員会 13:00 未来へつなぐまちづくり特別委員会
23日	月 本会議	各委員長報告、質疑、討論、採決

※予定のため変更になる場合があります。
 ※本会議の開会は、いずれも午前10時を予定していますが、開会前の会議により遅れる場合もあります。
 詳しくは、議会事務局へ問い合わせください。
 (☎0779-64-4830)

議員定数削減案可決 (18→16人に)

市会案(議員が提出する議案)として提出された「大野市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案」を可決しました。令和5年の一般選挙から適用されます。



議場の傍聴席

傍聴に当たってのお願い

- ・携帯電話は、電源を切るかマナーモードにするともに、議会中は操作しないようにしてください。
- ・議会の円滑な運営のため、静かに傍聴してください。

乾側小学校の再編計画と耐震対策をセットにして検討してはどうか

乾側小学校が再編の対象となった場合には、保護者や地域の方と再編についての協議を進めていく



新風会・公明党
廣瀬 浩司 議員



- 問** なぜ、これまで乾側小学校の耐震対策が行われなかったのか。
- 答** 乾側小学校は木造校舎で、当初は耐震診断の対象外であったため。
- 問** 乾側小学校の耐震対策のスケジュールは。
- 答** 令和2年4月以降に解体工事を行い、その跡地に軽量鉄骨の校舎を設置する。
- 問** 計画どおりに進むと、来年度中には軽量鉄骨の校舎が建つことになるが、再編計画の見直しも進めるとのことなので、再編計画と耐震対策をセットにして検討してはどうか。
- 答** 再編計画を見直す中で、乾側小学校が再編の対象となった場合には、保護者や地域の方と、再編についての協議を進めていく。
- 問** 令和2年の年明け以降、小中学校再編計画の見直しをどのように進めていくのか。
- 答** 令和2年度から再編計画の見直し作業を進め、3年度には見直し案を各地域や保護者に説明して、了承の後、再編計画を策定したいと考えている。
- 問** 昨年秋季の中学校部活動新人戦では、軟式野球やソフトボールで合同チームを組んで出場している。再編計画を見直すに当たり、中学校では、再編後の部活動について十分考えてほしいが、小学校では、見直しのポイントは何と考えているのか。
- 答** 体育大会や音楽会などの学校行事に支障が出ない規模が必要と考えている。
- 問** 今後も猛暑が予想されるが、中学生みこしダンスパフォーマンスを実施していく予定か。
- 答** 暑さ対策は、これ以上は難しい。今後、城まつり実行委員会とも協議していきたい。

学校再編計画の見直し案で、中学校1校、小学校2校に戻ることはないか

現時点では、中学校1校、小学校2校という校数を全く排除するものではない



未来おおの
木戸屋八代実 議員



- 問** 平成29年1月に出された学校再編計画をどのような点で見直すのか。
- 答** 小中学校の校数、学校再編を行う時期、学校再編の方法である。
- 問** 意見交換会でも市民からは「学校再編計画を見直した結果、やはり中学校1校、小学校2校になりましたなど」ということではないか」という質問が何度か出されている。
- 答** 1校、2校という極端な校数に戻ることはないか。
- 問** 中学校1校、小学校2校というのが素案から少し急過ぎたというような意見も確かにあった。
- 答** しかし、一方で現計画は良いという意見も出ている。今後、検討の場で、適正な再編の数というのが決まってくると思うが、現時点では以前の計画の中学校1校、小学校2校という校数を全く排除するものではないと考
- 問** 文部科学省が学校施設の長寿命化改修事業の施策を出している。これを利用すると、大野市の実質的な負担割合は、26・7割であり、財政負担が掛からないと思う。
- 答** 本市の小中学校で築50年以上の校数とその耐震状況は、どうなっているのか。
- 問** 尚徳中学校1校が58年経過で、耐震対策は、乾側小学校を除く全小中学校で完了している。
- 問** 災害に強いまちづくりについて、今回改訂する防災マップの改良点は何か。
- 答** 家庭内の目の届きやすい場所に常備していただき、訓練や自主防災組織の講座等でも活用できるように工夫して作製する。

令和2年度当初予算編成の方針と描く姿は



新風会・公明党
はやし 頼和 議員



変化する時代の中で、 あらためて市民と共に働く市行政を展開したい

問 令和2年度は、第五次大野市総合計画の最終年度として、将来像実現に向けた施策の総仕上げと位置付けているが、市長の描く姿は。

答 中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の敦賀開業という最大のチャンスを生かすため、変化する時代の中で、直面する課題に柔軟かつ適切に対応しながら、あらためて市民と共に働く市行政を展開し「みんなが大野を好きになる、未来へつなぐまちづくり」を推進していく。

問 「稼ぐ力」向上の課題と取り組みは。

答 本市を訪れる方々に魅力ある地域資源に関する情報を提供し、積極的に市内への誘客を図る拠点として、道の駅「越前おおの荒島の郷(さと)」を、令和3年度早期の開駅に向け整備を進めていく。

問 令和2年度は、第五次大野市総合計画の最終年度として、将来像実現に向けた施策の総仕上げと位置付けているが、市長の描く姿は。

答 さまざまなプレイヤーが連携しながら回遊性の向上を図り、まち全体にチャンスを生かす機運を高めていくことや、市民や事業者の「やる気」をさらに引き出していくことが課題だと捉えている。

問 市長が述べた「全職員が行政の基本に立ち、限られた財源の中で全庁的な視点で事業の選択と構築を徹底する」とは、どういうことか。

答 本市の財政状況が非常に厳しい状況にあることを、まず囑託・臨時職員を含めた全職員が十分に認識すること。

また、行政の責任領域の見直しを念頭に、市民が市政の主役となった地域づくりが必要であり、職員自らが、地域活動への参加などを通じ、地域の課題解決に向けて、市民と共に取り組んでいく姿勢が求められる。

一般質問

老朽化している小中学校の校舎に対して、 何らかの対応が必要ではないか



清風会
ほりた 昭一 議員



老朽化の程度を確認しながら、改修等について 検討し、適時適切に情報を公開していく

問 小中学校再編について、市民の不安の声には、地域の衰退や財政などがあり、教育委員会だけでは解決できない課題があるのではないか。

答 地域づくり、それぞれの地域振興については、市長部局と教育委員会で話しながら進めていかなければならぬ。

問 学校の耐用年数は、どれくらいあるのか。

答 目標耐用年数は、日本建築学会の建築物の耐久計画に関する考え方は、50年から80年で、建築材料の品質や建築後の環境などにより、耐用年数に大きな差が出てくることとされている。

問 尚徳中学校は築58年を経過し、市民からは不安の声がある。何らかの対応が必要ではないか。

答 尚徳中学校を含めた全小中学校で、毎年、設備を、隔年で建築物を定期点検し、管理している。

問 校舎の老朽化の進み具合を確認しながら、校舎が今後どれだけ持つのか、また持たせるためには、どういった改修が必要なのかを検討していく。なるべく市民の方が不安に思わないように、適時適切に情報を公開しながら進めていく。

問 現在の小中学校の空き教室の状況は。

答 授業で使用していない普通教室の空き状況は、小学校で23、中学校で10である。子どものより良い教育環境を目指して、空き教室の有効活用を推進していく。

問 国の整備計画を踏まえ、学校現場のICT環境を充実させる必要性があるのではないか。

答 時代に応じた学校のICT環境整備は必要不可欠なものなので、今後、国の動向を見極めながら段階的に整備していく。

保育士確保のための処遇改善など、市が補っていけないことはないのか

技能や経験に応じた保育士の処遇改善を行った民間の施設に対し、運営費を加算している



新風会・公明党

伊東由起恵 議員



問 肺炎球菌ワクチンの接種率向上に向けた今後の取り組みは。

答 毎年4月に対象者に通知するとともに、65歳到達者介護保険制度説明会や後期高齢者医療保険説明会、サロンなどで接種勧奨を実施していく。

問 ロタウイルスワクチン定期接種化の対象とならない子どもに対し、任意接種費用の一部助成を実施してはどうか。

答 定期接種は、令和2年10月1日からの開始となるので、保護者の希望による任意予防接種の助成は考えていない。

問 保育の質の問題や保育士不足などの課題が指摘されている。保育士確保のための処遇改善など、市が補っていけないことはないのか。

答 技能や経験に応じた保育士の処遇改善を行った民間の施設に対し、運

営費を加算している。保育士の負担軽減と離職防止のための支援についても検討していきたい。

問 保育所等の父親クラブの補助金が廃止になったが、それに代わる保護者の活動に対し、補助していく考えは。

答 父親クラブのない他の保育所等との整合を図るということで、今回、廃止とした。

問 市長が提案理由の中で挙げた「子育て世代支援パッケージ」とは、どういったものなのか。またその定義は。

答 新たに市民となる方々を増やすような意味での「子育て世代支援パッケージ」としている。大野市に住みながら、子育てがしやすいまちというようなメッセージを与えるられる内容にしていく。

地区別ワークショップの満足度を通じて、第六次大野市総合計画に懸ける市長の思いは

市民が主役のまちづくりの将来像となるよう、市民の皆さんと一緒に作っていく



新風会・公明党

白崎 貴之 議員



問 地区別ワークショップでの第五次大野市総合計画の満足度が高かった分野は。

答 構想実現のための柱の「人が元氣」では、保健予防と地域医療の推進などについて、比較的満足度が高い結果となった。「産業が元氣」では、総じて満足度が低い結果となったが、中部縦貫自動車道の整備促進や雪に強いまちづくりについては、満足度が高い結果となった。「自然が元氣」では、おおむね満足度が高かったが「行財政改革」では、不満足との意見が多かった。

問 第五次大野市総合計画の満足度を見て、第六次に懸ける市長の思いは。

答 市民が主役のまちづくりの将来像となるよう、この総合計画を市民の皆さんと一緒に作っていくと思うっており、ボトムアップのやり方で計画策

定に向けた取り組みを進めている。その中で、大野市総合計画審議会と第六次大野市総合計画幹事の皆さんに検討いただくなど、市民の皆さんと作っていく総合計画である。

問 大野市内におけるプレミアム付商品券の購入引き換え状況は。

答 10月末時点の申請率は、33.1割となっている。住民税非課税者分については、8月上旬に購入引換券交付申請書と事業周知のチラシを送付し、さらに10月末には、再度申請を促すための通知を送付している。

問 申請状況が当初の見込みより低い状況となっているのは、手続きの煩雑さと前回の消費税率引き上げ時のような現金支給ではないため、商品券の購入費用が掛かることに対する負担感もあると考

えている。

再編移行に関して、モデル的なスケジュールを作るべきではないか

児童・生徒やその保護者が安心できるよう、課題を洗い出し、モデルスケジュールを作成する



清風会
ひろた かずのり
廣田 憲徳 議員



問 児童・生徒の他校間交流や教材、被服の選定等、再編移行に関して、モデル的なスケジュールを作るべきではないか。

答 学校再編に向けた準備として、現在使用している制服やランドセル、PTAの規約をどう改訂していくかなど、学校間で調整していかなければならぬ課題はある。また、お互いの児童・生徒が学習や学校生活をスムーズに送ることができるよう、学校同士での交流も充実させる必要がある。児童・生徒やその保護者が安心できるよう、課題の洗い出しを行い、現段階で着手できるものと再編計画の策定後に着手するものに整理して、モデルスケジュールを作成する。

問 スクールバスの運用ルールについて、通学距離や時間、登下校の安全確保のために柔軟なルールを策定してはどうか。

答 バスの発着場所については、児童・生徒や保護者のニーズに合わせた見直しをしている。本年度も要望に応え、安全面や運行時刻の面から調査し、運行経路を変更した事例もある。クマの出没が頻繁に目撃された中学校では、生徒の安全を確保するため、運行管理規程を一部改正し、これまでも利用できるようにした。また、教育環境に関する意見交換会においては「通学の距離と時間、バスの運行に関することが不安である」との声が多く聞かれた。そのため、来年度から予定している再編計画の見直しの場において、これらの声をお伝えし、柔軟なスクールバスの運行についても検討いただくことになると考えている。

一般質問

行財政改革について市長の基本理念と進捗、今後の計画は

行政責任領域の見直し、職員の地域活動参加、経費削減と自主財源の確保に努める



双葉会
たかおか かずゆき
高岡 和行 議員



問 市長の政治姿勢について、行財政改革における市長の基本理念と進捗（しんちよく）、今後の計画を尋ねる。

答 行政の責任領域の見直しや、職員自らが地域活動へ積極的に参加することが求められている。また職員には、能力向上に資する研修を受けさせている。財政においては、事務事業の見直しによる経費の削減、自主財源の確保に努めている。

問 コンプライアンスとガバナンスについて、毎年年間1千万円以上の経費で職員研修を行っているが、過日、職員による250万円余の公金使用込みが発覚した。綱紀粛正・再発防止会議の開催期間中にもかかわらず、印鑑無断使用などの不祥事が3件も起きたのは、どういうことか。

答 職員の不祥事、大変な市政始まって以来の大

問 大きな問題が起こった。一つ一つ信頼を取り戻し、信頼を積み上げていくしかない。

問 教育長の政治姿勢について、教育長自身が考える学校再編の考えは。

答 一定規模の学校が必要であり、学校再編は必要であるというのが基本的な姿勢である。

問 既に旧蔵生小学校へ乾側小学校の児童が登校している。来春に6年生5人が卒業すると11人になると聞いているが、プレハブが出来上がって戻ったときに、複式学級は解消されるのか。

答 複式学級の解消はない。

問 ある保護者が中学生となつたわが子から「早く大きな学校へ行きたかった」と言われたことについて、どう思うか。

答 ある程度の規模の学校、そして学級が必要であると思っている。

学校給食のパン食に農薬グリホサートの含有はないのか



県では287成分の残留農薬検査を実施しているが、その項目にグリホサートを含める検討をしていくとのこと

日本共産党大野市議員
 さかえ まさお
榮 正夫 議員



問 小中学校再編計画の見直しについて尋ねる。
答 本年度から学校教育環境検討事業として、小中学校再編計画の見直しの取り組みを進めている。その取り組みの一つである教育環境に関する意見交換会は、5月28日から11月28日まで、41カ所で開催し、794人の参加があった。
 来年度からは、意見交換会で出された意見やアンケートを参考に、令和2年度末までに再編計画案を作成したい。
問 上下水道事業の公営企業会計への移行と民営化について尋ねる。
答 上下水道事業の経営環境が厳しさを増している中、総務省から平成31年度までに公営企業会計に移行するよう要請があった。その要請に基づいて移行準備を進めてきたが、民営化については考えていない。
問 学校給食のパン食における農薬グリホサートの含有はないのか。
答 本市の小中学校の給食では、週1回のパン食を実施している。給食用パンの小麦は、アメリカ産とカナダ産である。安全性を確保するため、外国産の小麦については国の検査に合格したものを使用している。県学校給食会でも年1回、287成分に関する残留農薬検査を実施しているが、グリホサートは検査項目にないため、今後、検査項目に含める検討をしたいとのことである。本市においても情報収集に努めていく。
問 公共施設使用料の改定による歳入の増加をどれくらい見込んでいるのか。
答 新年度において約200万円の増額を見込んでいる。

大野市手話言語条例施行後、どのような取り組みを行っているのか



手話の啓発や学習機会の確保、手話を用いた意思疎通の支援など、各種施策に取り組んでいる

新風会・公明党
 まつもと よしひこ
松本 嘉彦 議員



問 大野市手話言語条例施行後、どのような取り組みを行っているか。
答 手話の啓発や学習機会の確保、手話を用いた意思疎通支援などの各種施策に取り組んでいる。例えば市では、福祉こども課に手話通訳者を配置し、必要に応じて手話通訳者及び手話奉仕員を派遣している。
 また、手話奉仕員のスキルアップを図るための研修会を開催している。さらに、一般向けの初級講座の開催、小中学校及び高等学校での体験講座も実施している。
問 聴覚障害者に対する支援に、力を入れて取り組んでいただきたいが、どのように考えているのか。
答 今後、いろいろな障害を持たれた方が、本当に自分らしく住みやすい大野市を目指していく必要がある。それに向かつて各施策を推進していかなければならないと考えている。
問 避難所に配備されている非常用小型発電機では、容量が不足するのではないか。
答 大野市は、社団法人大野建設業会と災害時における協力に関する協定を締結している。社団法人大野建設業会では、かなりの発電機を所有しており、発電機が不足する場合には、それらの機関と連携して対応していきたいと考えている。



一般質問

使用料や手数料の値上げを市民は納得するの



日本共産党大野市議員
野村 勝人 議員



市としてどういったことが妥当かを考え、額を示した

問 消費税が10割になり、市民の生活は、年金の引き下げ、物価の上昇、さらに国民健康保険税や介護保険料の増額など、さまざまな面で負担が増えている。このような中で、本願清水イトヨの里や大野市博物館などの入館料を200円から300円に値上げする案が出ているが、県内には、無料や100円、200円で入館できる同様の施設が数多くある。片方で大型事業をどんどん行い、その負担が市民に回ってくる



麻那姫湖青少年旅行村バンガロー

答 使用料等の値上げを検討するに当たり、他市の動向も調べ、本市としてどういったことが妥当かを考えた上で、このような額を示している。これについては、丁寧な説明に心掛け、議員全員協議会で何度も説明させて

いただき、一つ一つ段階を経た中で皆さまのご理解を得て進めてきており、それぞれ該当する施設については、値上げさせていただきます。

問 麻那姫湖青少年旅行村のバンガロー使用料1棟1泊1500円を4000円に、テントサイト使用料1張500円を3500円に改定するのは、値上げ過ぎではないか。今回の値上げにより、近隣の安い施設より高くなる。大野市は交流人口増加を見込んでいるのに、来訪者が減るのではない

答 施設、サービスを充実させることにより、選

び続けていただけのようにしていきたい。

一般質問

越前おおの水のがっこうは、建設不要な施設ではないか



無党派
ダニエル益資 議員



水に関する学習、研究の拠点とする機能のほか、中心市街地の交流人口の増加につながる施設である

問 越前おおの水のがっこうは、建設不要な施設ではないか。

答 本施設は水に関する学習、研究の拠点とする機能のほか、結ステーションや御清水に近いという利点を生かし、交流の場として市外からの遠足も受け入れたい。子どもたちのまちなか散策の目的のの一つとして水に興味を持ってもらうことと併せて、外部からの視察や観光客なども受け入れることで、中心市街地の交流人口の増加につながるものと考えている。

問 本施設での取り組みを図書館や本願清水イトヨの里ではできないのか。

答 本願清水イトヨの里は水生生物に主眼を置く教育施設で、図書館は水に特化した施設ではない。大野市は水の聖地として、この施設を整備したい。

問 本施設は新築ではないので、コストは掛からないとい

っても、4000万円近くの税金が使われるが、費用対効果は良いと思うか。

答 多くの研究者や学生、観光客がこの施設を訪れることによって、本市の恵まれた水環境が市内外にアピールされれば良いと考えている。

問 公立学校で罵声を浴びせる指導は、容認されているのか。

答 文部科学省の基本方針等に基づき、本市の小中学校では、教職員による暴言や不適切な言動による指導は、認めていない。

問 安心して楽しく通える学校であるために、教職員は、児童・生徒によるいじめや暴力行為を許さない姿勢を示しているため、問題行動が起きた際には、毅然(きぜん)とした態度で、時には厳しく叱責(しっせき)することはある。

令和元年12月第416回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）																					
		議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫			
市長提出議案	71	平成30年度大野市歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	×	○	○	○	○	欠	○	○	×	／	○	○	○	○	○	欠	
	72	平成30年度大野市水道事業会計の決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	欠
	(74)	令和元年度大野市一般会計補正予算（第3号）案の修正案	可決	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	退	○	○	○	○	○	×
	74	修正部分を除く令和元年度大野市一般会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	○	○	×
	75	令和元年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	76	令和元年度大野市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	77	令和元年度大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	78	令和元年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	79	令和元年度大野市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	80	令和元年度大野市水道事業会計補正予算（第1号）案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	81	大野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	82	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	○	○	×
	83	大野市水に関する学習研究施設設置条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	84	大野市簡易水道事業の設置等に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	85	大野市下水道事業の設置等に関する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	86	大野市水道事業の剰余金の処分に関する条例の全部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	87	大野市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	○	○	×
	88	大野市手数料条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	89	大野市文化芸術交流施設設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	90	大野市博物館設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	○	○	×
91	本願清水イトヨの里設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	○	○	×	
92	大野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	／	○	○	○	○	○	○	○	×	

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）																		
		議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
市長提案	93	大野市和泉診療所設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	94	大野市休日急患診療所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	95	大野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	96	大野市六呂師堆肥センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	97	大野市宝慶寺いこいの森設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	98	大野市麻那姫湖青少年旅行村設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	×	×	×
	99	大野市九頭竜保養の里設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	100	大野市国民休養地設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	101	大野市和泉前坂家族旅行村設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	102	大野市化石発掘体験センター設置条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	×
	103	大野市水道給水条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	104	大野市公共下水道条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	105	指定管理者の指定について（大野市ぶなの木台コミュニティセンター）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
	106	指定管理者の指定について（大野市立農村集落多目的共同利用施設（木本集落センター））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○
107	指定管理者の指定について（大野市まちなか観光拠点施設及び越前おおの結ステーション）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
108	指定管理者の指定について（大野市国民休養地（国民宿舎パークホテル九頭竜、森とふれあう交流ステーション及び野外レクリエーション施設））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
109	指定管理者の指定について（大野市国民休養地（九頭竜スキー場））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
110	指定管理者の指定について（大野市駐車場（北大野駅前駐車場及び駅前駐車場）及び大野市自転車駐車場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
111	指定管理者の指定について（大野市駐車場（亀山南第2駐車場及び城下町西広場））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
112	専決処分の承認を求めることについて（大野市長等の給与に関する条例及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例）	承認	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
113	大野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
114	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	

議案番号・議案名等		議員名（議席番号順）	議決結果	廣	木	林	ダ	白	伊	松	廣	堀	高	野	梅	永	松	川	高	畑	榮	
				瀬	戸	順	ニ	崎	本	田	田	田	村	林	田	田	端	岡	中	正		
	115	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案	4	大野市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	○	○	○	×
	5	法務局証明書発行請求機の設置を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○
請願	2	国に対し「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	賛	
陳情	9	関電原発にかかわる不正資金還流の真相究明をもとめる陳情	継続審査	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	
	10	老朽原発稼働に関する陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	否	否	否	賛	/	否	否	否	否	否	賛	
	11	法務局証明書発行請求機の設置に関する陳情	採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	/	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
	12	御清水エリアの下水道敷設工事見直しに関する陳情	継続審査	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	×	×	×	
	13	「大野市文化会館建設」についての陳情	趣旨採択	趣	趣	趣	否	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	/	趣	趣	趣	趣	趣	趣	
陳情(継続分)	3	御清水エリアの公共下水道事業の見直しに関する陳情書	継続審査	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	○	○	×	×	×		
陳情(継続分)	5	名水百選「御清水」(殿様清水)を残すための陳情	継続審査	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×	/	○	×	○	×	×	×		

※議案第74号については、修正案が賛成多数で可決され、修正案を除く部分が賛成多数で可決されました。結果、修正可決となりました。

議長（梅林厚子氏）は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×。退場は「退」と表示
欠席は「欠」と表示。請願・陳情の願意に賛成「賛」、願意の趣旨又は一部に賛成「趣」、願意を否とする場合「否」
継続審査とすることに賛成○、反対×

ただし、陳情13号についての否は、趣旨採択とすることについての否

人事案件

教育委員会委員の任命について

新たに馬道 保氏（太田）、松谷由美氏（右近次郎）を任命することに同意しました。

意見書

地域住民の利便性を確保するため、法務局証明書発行請求機を旧福井地方法務局大野支局管内で設置することを求める意見書を政府関係機関へ提出しました。

●請願書・陳情書の提出方法

どなたでも、市政についての要望などを、請願書や陳情書として市議会に提出することができます。請願書・陳情書ともに様式に特別の定めはありません。

定例会初日の午後5時までに提出されたものは、その定例会で審議することとなっています。

次の事項を記載して、持参の上、提出してください。

- ①請願・陳情の趣旨（具体的に）
- ②提出年月日、提出者の住所・氏名（押印必要）
- ③請願書の場合は、紹介議員の署名（1人でよい）

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。（☎0779-64-4830）

●会議録の公開

本会議の会議録は、図書館や議会図書室で閲覧できるほか、大野市ホームページでも公開します。また各委員会の会議録は、情報公開制度によって、公開を求められます。

ただし、会議録の調整に、一定期間を要します。

平成30年度 歳入歳出決算を認定

決算特別委員会報告の主な内容

(高田委員長、堀田副委員長、廣瀬、木戸屋、林、野村、川端、畑中)

平成30年度 大野市各会計決算総括表

●一般会計			
区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計	184億4617万円	176億1140万円	8億3477万円
●特別会計			
区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
国民健康保険事業	37億7984万円	36億3160万円	1億4824万円
和泉診療所事業	8851万円	8851万円	0万円
後期高齢者医療	4億3576万円	4億3380万円	196万円
介護保険事業 (保険事業勘定)	40億899万円	39億3794万円	7105万円
介護保険事業 (介護サービス事業勘定)	1034万円	1019万円	15万円
簡易水道事業	1億4195万円	1億1549万円	2646万円
農業集落排水事業	3億4077万円	3億2968万円	1109万円
下水道事業	15億8361万円	15億7934万円	427万円
●企業会計 ※収益的並びに資本的収入及び支出の合計額			
区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額
水道事業	2億3192万円	2億7271万円	▲4079万円

歳入について

国難とも呼ぶべき少子化・高齢化に伴う人口減少が進む中、持続可能なまちづくりを進めていくためには自主的に使える財源を有効かつ効果的に各種施策に反映させる必要があり、市税、国民健

康保険税をはじめ、医療、介護に係る歳入の確保は最重要課題である。今後控えている2025年問題やその先の40年問題などがある中で、知恵を絞って速やかな徴収に努められたい。

選挙費全般の検討

公職選挙法の改正により市議会議員選挙でも公営ビラが作成できることになり公費負担の増加が見込まれる。投票者の利便性をしっかりと確保した上で、投票率の向上と併せて期日前投票のより一層の充実と投票所の在り方、そして選挙事務費を含めた選挙費全般について検討されたい。



投票箱

六呂師高原立地の各施設

六呂師高原エリアにはスキー場、温浴施設うらら館、ミルク工房奥越前、円山公園など本市や県が整備した多くの施設が点在している。

六呂師高原の活性化を図るためにも、施設の集約化等も見据えた今後の方向性についてしっかりと議論し取り組まれたい。



ミルク工房奥越前

人口減少対策

人口減少対策は本市の死活問題であり、一刻の猶予も許されない状況である。「大野に住みたい、住み続けたい、安心して子育てができる」と思っていたいただき、本市の人口減少に歯止めをかけられるような思い切った斬新な独自の施策立案を求めらる。



子育て支援センター

職員の意識改革

一般会計における経常収支比率が28年度から3年連続して98割台で推移しており、硬直化が著しい。本市の厳しい財政状況を全ての職員が自覚し、わが事として一層の経費削減を行うなど財政の健全化に努めるよう求める。

常任委員会審査 Q&A

▽産経建設

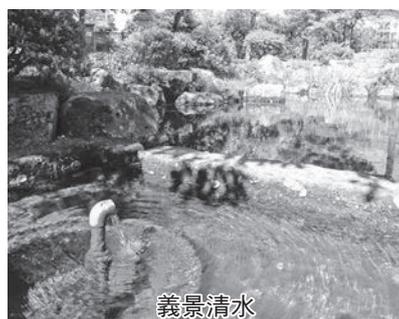
(高田委員長、堀田副委員長、ダニエル、松本、松田、川端)

水に関連した施策について

Q 地下水については、全庁的に連携した施策を推進するなど、地下水位の低下を防ぐといった本質的な部分の取り組みが足りないのではないかと。

A 現在、(仮称)越前のおの水循環・湧水文化再生計画を策定中であり、その計画の中で森林や農地を含めた市域全体を対

象とした水の循環に関する取り組みなどを取り組んでいきたい。



義景清水

御清水エリアの下水道敷設工事見直しに関する陳情について

陳情のタイトルが下水道工事見直しに関する陳情であったことから、陳情者によるその趣旨を直接確認したところ、観光地御清水に下水道工事に関連した風評被害が出ない対策を講じてもらいたいというものであった。民生環境常任委員会で継続して審査されている御清水エリアの公共下水道事業に関する陳情の審査経過も見極める必要があるとの意見が多く、継続審査とすることに決定した。

▼民生環境

(永田委員長、野村副委員長、木戸屋、林、伊東、畑中)

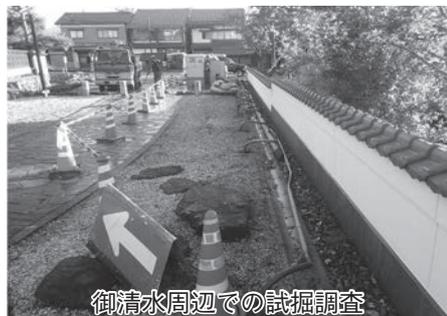
御清水エリアの公共下水道事業の見直しに関する陳情書について

Q 令和元年の秋に実施した御清水周辺での再調査の結果は。

A ウェルポイント工法による地下水への影響は、見られなかった。また、水質検査については、最終的な調査結果を令和2年1月中旬にとりまとめ、地元へ説明していく。

◎委員会での結果

再調査の結果をしっかりと検証する必要がある。



御清水周辺での試掘調査

水質検査の結果を踏まえた上で議論を進めるべきとして、賛成多数で継続審査とした。

名水百選「御清水」(殿様清水)を残すための陳情書について

◎委員会での結果

委員からは「特例区として採用してほしいというような、かなり明確なビジョンも見受けられるので、採択すべき」との意見や、「調査結果を地元で説明した上で、調査結果と陳情者の意図を併せて議論していくことも踏まえて継続審査とすべき」などの意見が出された。

最初に継続審査を諮った結果、賛成少数で否となり、次に採択を諮った結果、賛成多数で採択と決した。

※本会議で継続審査となる。

▼総務文教

(高岡委員長、廣田副委員長、廣瀬、白崎、梅林、榮)



乾側小学校

乾側小学校校舎の耐震対策事業について

◎修正案の提案

委員から事業費全額の2億2193万9000円全てを削除する修正案が提出され、賛成多数で可決。

◎修正案の提案理由

校舎の賃貸借期間を5年間としているが、再編計画によっては延長の可能性が考えられるため許可できない。また、地区での議論が尽くされていないとは思えない。

◎委員からの主な意見

真に子どもたちのためにどうあるべきかという視点に立ち、先行再編も視野に入れて再検討されたい。

法務局証明書発行請求機の設置に関する陳情書について

本陳情は、法務局が発行する登記事項証明書などの取得のため、旧福井地方法務局大野支局管内で法務局証明書発行請求機の設置を要望するもの。

◎委員会での結果

事業所の負担が軽減され利便性が高まることから全会一致で採択とし、政府・関係機関に対して意見書を提出することに決した。

▼議会運営委員会

(畑中委員長、白崎副委員長、木戸屋、林、廣田、高田、榮)

大野市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例案について

本市の議員定数は、平成19年に大野市議会の議員の定数を定める条例を改正し、現在の18人と定めた。この定数により23

年以降3回の市議会議員選挙が執行された。

この間、本市の人口も年々減少していることから、議員定数の適正化について議論するため、議員定数適正化協議会を設置し、4回にわたり丁寧に議論を尽くした。

市政の現状、課題及び人口減少等の将来の予測を十分考慮し、行政の簡素・合理化を実現するため、これまでの議員定数18人を2人減数して16人とし、令和5年の一般選挙から適用することとした。

特別委員会 報告

▼人口減少対策

(廣田委員長、林副委員長、木戸屋、ダニエル、伊東、高田、永田、榮)

9月定例会までの議論を踏まえ「医療などの経済的支援」「相談体制の充実と既存事業の見直し」「今ある施設や情報を生かした子育て支援の在り

方」について、理事者を含めた意見交換と議論を行った。

医療費に掛かる負担軽減について

Q 高校生までの医療費の負担軽減、妊婦や乳幼児に係る各種検診、障害児への支援の拡充、母乳外来に対する医療費の助成などを導入してはどうか。

A 医療費などの経済的支援については、現在、全体的なライフステージの中の、どの部分を重点的に支援していくのかを検討している。

子育て支援センターの充実について



離乳食教室

Q 子育て支援センターの充実が必要では。

A 子育て支援センターの休日開所や父親が行事に参加しやすい工夫を検討していきたい。

冬期間の子どもの遊び場について

委員から、エキサイト広場休館日の無料開放は良い取り組みであり、公共施設の空きスペースを活用するなど、施設の複合化についても取り組まれないとの意見が出された。

▼未来へつなぐまちづくり

(川端委員長 廣瀬副委員長 白崎、松本、堀田、野村、松田、畑中)

中部縦貫自動車道の進捗について

大野東・和泉区間の九頭竜川橋の上部工部分が11月22日に閉合したほか、下唯野トンネルが貫通し、川合トンネル、和泉トンネルの掘削工事も始まっ



九頭竜川橋上部工事閉合式

たとのこと。

大野油坂道路については、11月に近畿地方整備局事業評価監視委員会が「事業継続」が妥当と判断し、800億円が増額との説明があった。

◎委員からの主な意見

全体事業費の増額により、事業が遅れが生じるのではないよう、気を引き締めて状況を注視されたい。

委員会 視察レポート

▼議会運営委員会

令和元年11月19日・20日に実施しました。

視察先は、富山県南砺市、岐阜県美濃加茂市、滋賀県湖南市の3市。議会におけるタブレット端末の導入などについて研修しました。

南砺市議会は、平成29年9月議会から（導入検討は23年11月から）、美濃加茂市議会は、30年3月議会から（導入検討は29年2月から）、湖南市議



湖南市での研修

は、30年10月から（導入検討は25年7月から）タブレット端末を導入しています。

▼人口減少対策特別委員会

令和元年10月29日・30日に実施しました。

長野県諏訪市では「子ども課」と「教育総務課」とが共同で運営している子ども家庭総合支援拠点における各種相談業務や、子育て支援に係る情報発信、児童センターにおける取り組みについて研修しました。

情報発信では「スタッフからのお手紙」「スタッフコラム」「施設の注目ポイント」など、市民が手に取りたくなる工夫が凝らされている子育て支援ブックや、ゼロ歳児から高校生までを対象とした各種の子育て関連情報を、一つの子育てカレンダーに集約している取り組みなどについて説明を受けました。

富山県滑川市では、土曜日の子どもの居場所づくりもやっている市の見

児童館を見学し、運営状況について研修しました。そこには、アクティブな遊具が設置されており、父親の来館率が高いとのことでした。

諏訪市児童センター、滑川市児童館の両施設共に多くの人が来館するよ

うな魅力ある仕掛け（イベント）を実施しており、市民のみならず、市外や県外から多くの方が訪れる活気のある施設となっていました。

全天候型の遊び場として注目を集めている石川県小松市の「カブッキーランド」と加賀市の「かがにこパーク」の見学を行い、実情について研修しました。



小松市のカブッキーランド

編集後記

平成から令和に変わった年度で、第416回定例市議会が終了し、議会のワンサイクルが終わりました。

「大野市議会基本条例」に明記されていますように、議会は、市民の皆さまが議会と市政に関心を持っていただけるように努めていかなくてはなりません。本議会だよりは、その重要な役割を担う手段の一つです。編集委員会では、本紙を見やすくするために、写真やQRコードの活用、レイアウトの工夫などに取り組んできました。まだまだ十分などころもあります。これからも工夫を重ね、市民の皆さまにとって議会が身近な存在になりますように努めていきます。

(座長 木戸屋八代実)

議会だより編集委員会

- 委員 木戸屋八代実
- 伊東由起恵
- 高田 育昌
- 野村 勝人
- 永田 正幸
- 高岡 和行

※次回は、4月下旬の発行を予定しています。